



大谷光真ご門主様ご親修間近!!

西山別院開基覚如上人ゆかりのご法要「覚祖会」にご出座

ご家族やご近所の方々をお誘いあわせのうえ、ご参拝下さいますよう、心からお待ち申し上げます。

このたびの法要が一人ひとりの生き方を見つめ直し、本当に心豊かで確かな人生を歩んでいくことのできる、そのような機縁となることを願ってやみません。ご法要最終日には西山別院住職でもあられる、大谷光真ご門主が導師をお勤めになります。

創刊号にてご案内しました、覚如上人のご命日法要「覚祖会」が、いよいよ間近となりました。宗祖親鸞聖人によって開かれた浄土真宗のみ教えは、現代へと脈々と受け継がれてきました。それは、歴代宗主、本願寺の礎を築かれた覚如上人そして先人や先達が、私たちに「阿弥陀如来のおはたらきをよるごび、欲しい」と、願われていたからに違いありません。



平成16年の覚如上人650回忌法要の様（別院本堂）

覚如上人（かくによしようにん 1270~1351）
本願寺第三代宗主。西山別院開基。親鸞聖人の教義、伝承をまとめて本願寺教団を創成された。ご著作の「御伝鈔」、「口伝鈔」等は、真宗の聖教として大切に伝えられている。

大谷光真門主 ☆ご略歴☆

1945年生。東京大学文学部卒業東京大学大学院修士課程修了。龍谷大学大学院修士課程修了。1977年、浄土真宗本願寺派門主を承継する。最近ではダライ・ラマ氏との対談が、「文芸春秋」新年号に掲載され話題となる。主書に『朝には紅顔ありて』角川書店刊・『世のなか安穏なれ』中央公論社刊がある。尚、門主とは、浄土真宗本願寺派の教団をご統裁される方で、西本願寺住職がご就任される。宗祖親鸞聖人から教え、大谷光真門主は24代目の門主となる。

■平成20年本願寺西山別院法要予定■ (於：西山別院本堂)

3月20日(木)	午前10時～	春季彼岸会	講師 藤澤めぐみ師
4月22日(火)	午後2時～	覚祖会速夜法要	布教講師 滋賀県 野瀬善隆師
	午後7時～	覚祖会初夜法要	
4月23日(水)	午前7時～	覚祖会晨朝法要	

4月23日(水) 午前10時～ ご門主様ご親修覚祖会日中法要



澤野文臣氏作「翳」を囲んで、写真左澤野道玄氏、中央澤野信子さん、右澤野慎平ご夫妻

平成19年9月20日、別院財産管理委員の澤野道玄氏(株式会社さわの道玄代表)より、絵画が寄贈されました。澤野氏の父である澤野文臣氏(日本画家)の作で画題は「翳(えい)」、高さ2m80cmにも及ぶ大作です。描かれたのは平成9年頃、場所は京都・高雄の奥のあたり。
「翳」とは、かげり、かげったところという意味です。京都の賑やかな街中を少し離れ山中に入っていく、しばらく散策してみるとこのような場所に出会えるのでしょうか。どこか懐かしく落ち着くような感じがします。
この絵画は書院の入り口より正面奥に飾られています。お立ち寄りの際は、是非ご鑑賞ください。

**日本画家澤野文臣作
『翳』(えい)寄贈される**



〒615-8107
京都市西京区川島北裏町29番地
Tel : 075-392-7939
Fax : 075-394-4416
発行者：山本政秀

文化財市民レスキュー



本年1月25日
西京消防署および
東川島第一・北裏
・駅前各自主防災部
のみなさまご協力のもと
文化財市民レスキューの消防訓練が実施
されました。

本堂北側よりの出火を想定して、幼稚園児の避難、消防署及び近隣住民への緊急連絡、初期消火活動及び文化財の避難搬出訓練が行われ、最後に消防車が出動。消防署員によって実際の放水が為され、訓練を終えました。

国の重要文化財に指定されている西山別院本堂襖絵「松に藤」・「桜に牡丹」は襖八面に亘って大きく描かれているため、実際の火災時、少人数での迅速な運び出しは難しく、消防署員、そして地域住民の方々の協力が必須。今回の消防訓練では、各処連携の意思疎通がなされ有意義なものとなりました。

みんなで防災！西山別院で地域合同の消防訓練



ご近所の方々と訓練用消火器で初期消火訓練。みさなん、たのしそう？



←さすがプロの技！
抜群の安定感です。



輪番「消防署・各自主防災部協力のもと、訓練を有意義に終わることができました。ありがとうございました。」

初参式

—初めての☆参り—

やまぐち せいご

山口 惺吾くん★

(平成19年7月19日生まれ)



※本堂にお参りに来てくれました※

写真①は、お父さんの山口春繁さん、お母さんの真由子さん、お姉さんの真陽(まはる)ちゃんと一緒に。おじいちゃんの山口彦治さんは、別院の総代さん。いつもお寺がお世話になっています。



平成19年10月9日
ご参拝
於：西山別院本堂

初参式とは？

赤ちゃんの誕生は、両親や家族にとって何のものにも代えがたい喜びの一つでしょう。人としてこの世に生を受けることは極めて得難いことであり、不思議としか言いようがありません。このかけがえのない“いのち”がすくすくと育ってくれるように、また人間に生まれた喜びをかみしめつつ人生を強く歩んでくれるようにと、親なら誰もが願うところです。そうした我が子の人生の出発に当たって、けっして崩れることのない依り所となり、支えとなって下さる如来様に参拝する式を「初参式(しょさんしき)」と言います。初参式は、子にとっての人生の始まりの仏縁ですが同時に親にとっても、親として生きる出発点であり、子によって与えられた尊い仏縁といえるでしょう。

【初参式のお申込はお寺までの随時受付しております】

たすけあい募金 —災害義援金—



¥62,980.- 集まりました！

たくさんのご寄付
ありがとうございました！

別院本堂前に設置している「たすけあい募金—災害義援金—」募金箱に寄せられた寄付金につきましては、昨年7月16日に発生した『新潟中越沖地震』の復興支援金として「浄土真宗本願寺派たすけあい運動募金運営委員会」に寄託いたしました。

ご寄付を頂きました皆様のあたたかいお志に、心より感謝申し上げます。